※令和４年度以降入学生用

学校番号	311

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	論理国語	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	「新編論理国語」　（東京書籍）						
副教材等	「新編論理国語　学習課題ノート」（東京書籍）、「ポイント整理　ブラッシュアップ常用漢字三訂版 漢検対応 8～2 級」（明治書院編集部）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・二年生では様々な評論出てきます。「難しい」「わからない」と諦めることなく、根気よく読解していきましょう。
・「読む能力」だけでなく自分の考えを「書く能力」や相手に意見をわかりやすく「話す能力」や相手の主張を「聞く能力」も授業を通して身につけていきます。
・言葉の意味がわからないと文章を読んでいてもなかなか理解が進みません。絶えず意味を調べる習慣をつけましょう。
・ノート等の提出物、漢字の小テストも評価しますので、積極的に取り組んでください。

２　学習の到達目標

・文章を読み、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、論理的な考察ができる。
・文章を読み、書き手の意図や情景、心情の描写などをとらえ、表現を味わうことができる。
・文章を批評することを通し、人間、社会、自然などへの考えを深めることができる。
・語句の意味、用法を理解し、語彙を豊かにするとともに、自分の表現に役立てることができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けようとしている。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	対話についての筆者の考えを捉え、日常のコミュニケーションの在り方を振り返る。 ［教材］対話とは何か	a：文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 c：積極的に筆者が述べる「おしゃべり」と「対話」の違いを捉え、学習課題に沿って自分の生活におけるコミュニケーションの在り方を振り返ってまとめ、話し合おうとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	戦時下に生きた人々の日常と悲劇に思いを巡らし、時代や社会について考える態度を養う。 ［教材］少女たちの「ひろしま」	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 c：粘り強く筆者独自の「視点」を理解し、今までの学習を生かして戦時下の人々の日常と自分との接点について、考えを深めようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	挙げられている話題を関連づけて読み取り、「ふしぎ」ということについて考えを深める。 ［教材］「ふしぎ」ということ	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 c：積極的に具体例を通して筆者が述べようとしている考えを読み取り、学習課題に沿って筆者の考える「物語」の捉え方を理解しようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	文のつながりに着目して主張を読み取り、人間の思考や学ぶことの意義について理解を深める。 ［教材］学ぶことと人間の知恵	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[読]：関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 c：積極的に論理の展開を捉えて筆者の考えを理解し、今までの学習を生かして人間の思考や学ぶことの意義について、コンピューターと比較することによって筆者の意図と自分の考えを整理し、話し合おうとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
二学期	事実と主張の関係に注意して文章を読み、人間の脳の働きについて考える。 ［教材］ラップトップ抱えた「石器人」	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 c：積極的に筆者の主張を事実との関係に注意しながら読み取り、今までの学習を生かして人間の思考や脳の働きについて、複数の文章を読み比べながら、考えを深めようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	比喩表現に注意して内容を読み取り、思考のあるべき姿について理解を深める。 ［教材］思考の肺活量	a：文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 b[読]：文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 c：粘り強く比喩によって表現された筆者の主張を読み取り、学習課題に沿って筆者の述べる「思考」のあるべき姿について理解を深めようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	文章構成に注意して筆者の考えを理解し、安心というものの本質について考える。 ［教材］安心について	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 c：積極的に文章の展開を把握して筆者の考えを読み取り、学習課題に沿って筆者が捉えている「安心」の本質について考えを深め、まとめようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	文章に示された考え方を手がかりに、「わたし」の捉え方について理解を深める。 ［教材］複数の「わたし」	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[読]：設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：粘り強く筆者の挙げる考え方や事例が示すことを読み取り、学習課題に沿って筆者の言う「わたし」の捉え方について理解し、「わたし」に対する見方を広げようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
三学期	筆者の仕事の経験を手がかりにして、働くことと言葉の関わりについて考える。 ［教材］はじめに「言葉」がある	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[読]：人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 c：粘り強く筆者が述べる「ファッション」と「言葉」の関係を捉え、今までの学習を生かして「働くこと」と「言葉」の関わりについて自分の考えをまとめ、話し合おうとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	楽しく働くとはどういうことかについての筆者の考え方を理解する。 ［教材］楽に働くこと、楽しく働くこと	a：文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 b[読]：関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 c：進んで「楽しく働くこと」について、それぞれの文章の筆者の立場に基づく考えを、学習課題に沿って理解し、「働くよろこび」について自分の考えをまとめ、話し合おうとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　0　）時間

・書くこと　…　（　38　）時間

・読むこと　…　（　70　）時間